



## News Release

2024年10月31日  
NITE（ナイト）  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
製品安全センター（東京）

# 暖房、点検、ヨシ！

～5つの点検で火災を未然に防ぎましょう～

### 1. 関東甲信越地方の暖房器具の重大製品事故

#### (1) 年度別事故発生件数と被害状況

2019年度から2023年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報<sup>※1</sup>において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、暖房器具<sup>※2</sup>の重大製品事故は153件ありました。暖房器具の重大製品事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 石油ストーブ・石油ファンヒーター、電気ストーブ・電気ファンヒーター、ガスストーブ・ガスファンヒーター、オイルヒーター

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年	2019年	2	1	3	9	6	10	4	1		1	37
	(内数)火災事故	(2)	(1)	(3)	(9)	(5)	(5)	(2)	(1)		(1)	(29)
	2020年	1		4	5	5	7	5	1		1	29
	(内数)火災事故	(1)		(4)	(5)	(4)	(7)	(5)	(1)		(1)	(28)
	2021年				9	4	5	8	3			29
	(内数)火災事故				(8)	(3)	(3)	(7)	(3)			(24)
	2022年	2		1	1	7	7	6	1		1	26
	(内数)火災事故	(2)		(1)	(1)	(6)	(5)	(5)	(1)		(1)	(22)
2023年	2		3	7	4	6	7	1	2		32	
(内数)火災事故	(2)		(2)	(7)	(4)	(5)	(7)	(1)	(1)		(29)	
合計	7	1	11	31	26	35	30	7	2	3	153	
(内数)火災事故	(7)	(1)	(10)	(30)	(22)	(25)	(26)	(7)	(1)	(3)	(132)	



表2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡	1		4	6	5		3	2		21	
		(内数)火災事故	(1)		(4)	(6)	(5)		(3)	(2)		(21)	
		重傷			1			2	1		1		5
		(内数)火災事故			(1)			(1)	(1)				(3)
		軽傷				3	3	2	1				9
		(内数)火災事故				(3)	(3)	(2)	(1)				(9)
	物的被害	拡大被害	6		4	18	13	15	19	4	1	2	82
		(内数)火災事故	(6)		(4)	(17)	(11)	(15)	(18)	(4)	(1)	(2)	(78)
		製品破損		1	1	4	5	15	6	1		1	34
		(内数)火災事故		(1)	(1)	(4)	(3)	(6)	(3)	(1)		(1)	(20)
被害なし				1			1					2	
(内数)火災事故							(1)					(1)	
合計		7	1	11	31	26	35	30	7	2	3	153	
(内数)火災事故		(7)	(1)	(10)	(30)	(22)	(25)	(26)	(7)	(1)	(3)	(132)	

表3. 原因区別別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの				3	4	11	8			1	27
	B 製品および使い方に問題があったもの				1				1			2
	C 経年劣化によるもの		1					1				2
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	2			1		1	1				5
	小計	2	1	0	5	4	12	10	1	0	1	36
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの				1							1
	E 誤使用や不注意によるもの			2	5	2	5	4	1			19
	F その他製品に起因しないもの	1		5	5	8	7	5	1	2		34
	小計	1	0	7	11	10	12	9	2	2	0	54
その他	G 原因不明なもの	3		2	12	8	8	8	3		2	46
	H 調査中のもの	1		2	3	4	3	3	1			17
	小計	4	0	4	15	12	11	11	4	0	2	63
合計		7	1	11	31	26	35	30	7	2	3	153

## (2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

## ① 電気ストーブの事故事例(可燃物が接触して出火)

・2020年5月、東京都、被害拡大

(事故内容)

電気ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生した。



(事故原因)

当該製品は、電源プラグがコンセントに接続された状態で電源スイッチがオンの位置のまま放置されたため、タイマー動作によりヒーターに通電が停止したものの、停電後にタイマーがリセットされヒーターに再通電して近傍の可燃物を加熱し、出火に至ったものと推定される。なお、取扱説明書の注意には、「使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。」旨、記載されている。

② 石油ファンヒーターの事故事例（ガソリンの誤給油）

・ 2020年12月、埼玉県、拡大被害

(事故内容)

寮で石油ファンヒーターを使用中、石油ファンヒーター及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

当該製品に出火に至る異常は認められず、カートリッジタンク内からガソリンの成分が検出されたことから、当該製品に誤ってガソリンを給油したため、ガソリンに引火し、出火したものと推定される。なお、取扱説明書には、「ガソリン厳禁、ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

③ 石油ストーブの事故事例（給油口ふたの閉め忘れ及び締め付け不良などにより漏れた灯油に引火）

・ 2022年1月、神奈川県、拡大被害

(事故内容)

飲食店で石油ストーブを使用中、石油ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

当該製品は、使用者がカートリッジタンクの口金キャップを完全に締めないまま本体にセットしたため、タンクの取り出し時に口金キャップが外れ、こぼれた灯油が本体に掛かり、出火したものと推定される。なお、カートリッジタンクには、「給油は必ず消火し、油量計を確認しながら給油する。」、「給油後、口金は確実にしめる。」、「口金を下にして油漏れがないか確認する。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代、佐藤、望月、浦岡、北村

電話：03-3481-1820